

兄弟姉妹登園届（保護者記入）

保育園において、お子様の発熱、嘔吐、下痢、発疹、充血等の症状を確認した場合は、感染防止の観点から当該児童の兄弟姉妹も家庭保育をお願いしております。

しかし、当該児童が医師から感染症ではないと診断された場合に限り、以下の条件を全て満たした上で、保護者様の就労、保育園の行事に参加等を対象に、兄弟姉妹の登園が可能となります。こちらの用紙を園にご提出ください。

みなみ新松戸保育園長殿

提出日：令和 年 月 日

保護者氏名：_____

体調不良の当該児童：クラス名：_____ 組 氏名 _____

受診日：令和_____年_____月_____日

医療機関名：_____ 医師名：_____より、

感染症ではないと診断され、以下の条件を全て満たすため、兄弟姉妹を登園いたします。

☐ 兄弟姉妹は保護者の就労、保育園の行事参加等のために登園させる（リフレッシュではない）

☐ 兄弟姉妹が体調不良となった場合は、なるべく早めにお迎えに来ることが可能である

☐ 兄弟姉妹は 24 時間以内に 38℃以上の発熱がない

（熱性けいれんをお持ちの方は医師の設定体温）

☐ 兄弟姉妹は解熱剤を使用していない（平熱である）

☐ 兄弟姉妹は 24 時間以内に嘔吐、下痢症状がない（通常通りの便が出ている）

☐ 兄弟姉妹は元気で機嫌、顔色、目の色が良い

☐ 兄弟姉妹は通常通り食事、水分が摂れている

☐ 兄弟姉妹は十分な睡眠が取れている

☐ 兄弟姉妹は鼻水、咳が出ていない

☐ 兄弟姉妹は全身に発疹が出ていない

☐ 兄弟姉妹はその他、体調に変わりない

★全てに✓をつけてください

【事由及び各時間】

☐ 父・母の在宅勤務・テレワーク

（勤務時間： 時 分～ 時 分）（保育時間： 時 分～ 時 分）

☐ 行 事： （保育時間： 時 分～ 時 分）

☐ その他： （保育時間： 時 分～ 時 分）

★いずれかに✓をつけてください

★登園日の翌日以降、勤務時間や保育時間が変わる場合は再度ご提出ください。

【登園可能な兄弟姉妹の氏名】 登園日：令和 年 月 日

クラス名： 組 氏名 登園日の体温 _____℃

クラス名： 組 氏名 登園日の体温 _____℃

裏面の留意事項を必ずご一読ください

【留意事項】

発症 0 日目に病院受診される際は、診断名が見つからない場合や医師の判断により感染症の検査をしていただけない場合等の可能性がございます。症状にもよりますが、感染症の検査をされる際は、発症後 12 時間～48 時間以内に病院受診されることを推奨いたします。また、医師により「感染症ではない」と診断されましても、発熱等の症状が数日間続く場合は、感染症の可能性を考慮し、再度かかりつけ医に相談されることを推奨いたします。

〈例〉発症後 12 時間～48 時間以内に病院受診した場合

	発症 0 日目	発症 1 日目	発症 2 日目
当該児童	発 症 —————→		
	早 退	<u>病院受診後</u> 、感染症ではない	解熱 24 時間以上 経過後登園可
兄弟姉妹	体調良好 —————→		
	早 退	当該児童が病院受診後、 登園可	登園可

※診断名が見つからない場合、医師の判断により感染症の検査をしていただけない場合等は、感染症の可能性を否定できないため兄弟姉妹は登園できません。あくまでも当該児童が感染症ではないと医師に判断された場合のみ、兄弟姉妹は登園可となります。

【その他】

・原則的に当該児童が発熱した場合、その兄弟姉妹は家庭保育となります。感染拡大防止のご協力をお願いいたします。

・医師の了承を得た上で、以上の全てにチェックがついている場合であっても、園長、主任、看護師の判断で登園できない場合もございます。

例：A 病院では結膜炎の診断だったので登園したが、園長、主任、看護師の判断で B 病院での再診をお願いした。受診結果は感染症（アデノウイルス）であった。

・保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。集団感染や流行を出来るだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できます。医師の診断により体調不良のお子様が発熱でなかったとしても、ご家族の皆様の皆様のお身体にご留意ください。